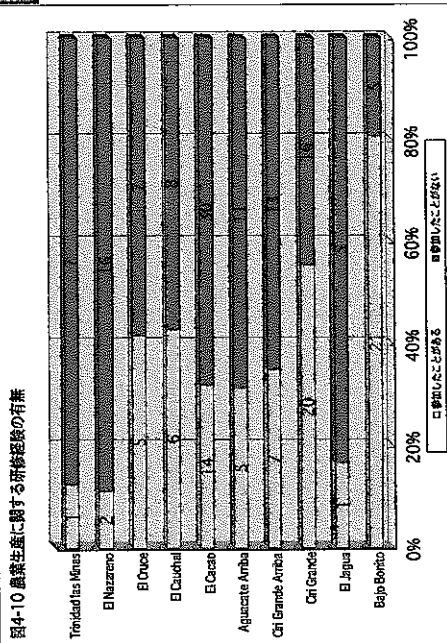
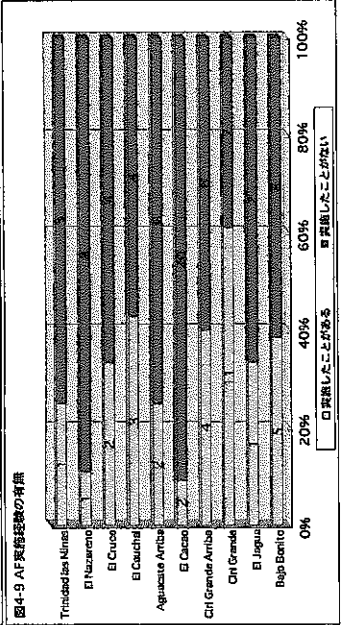
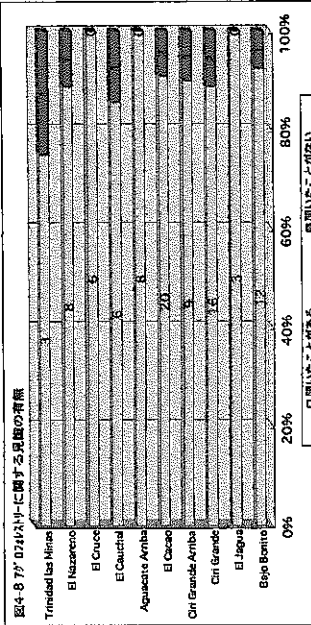
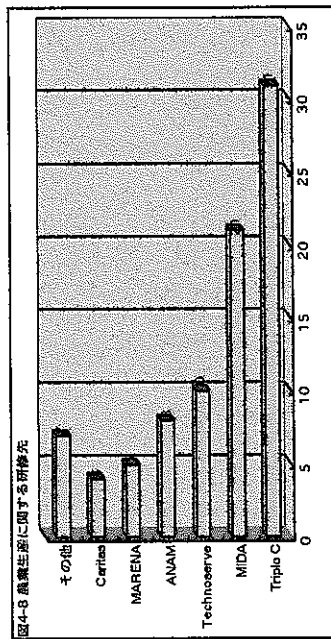


有機肥料について97%ものメンバーが関心を示している。AFについて91%が関心があることにも関わらず、実施した経験があるのは32%に留まっている。Ciri Grandeでは61%が経験がありと回答したが、これはUSAIDコーヒープロジェクト、平和部隊ボランティアの活動による。経験がないと回答した68人のうち65人だけがAF技術導入に関心を示していることも特筆に値する。

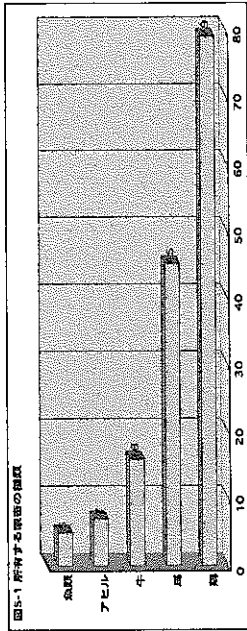


性別に見ると女性で25%、男性で57%が農業生産に関する研修を受講した経験を持ち、研修が男性中心に行われてきたことが解る。また、研修先ではTriple C及びMIDA（農業開発省）が大半を占めている。

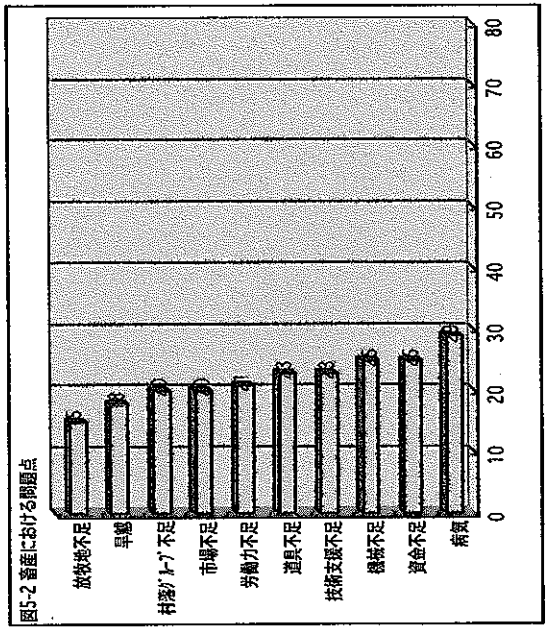


5. 畜産

大半の農家が焼畑による自給農業により生計をたてているため、放牧等の畜産をおこなっている農家の数は限られている。ただし、養鶏は79%の家庭が小規模ながら行っており、現状の所有数を3倍に増加させたい希望を持っている。自家消費用の動物性蛋白及び販売用として高いニーズがあることが解る。馬は45%の農家が移動手段として所有している。

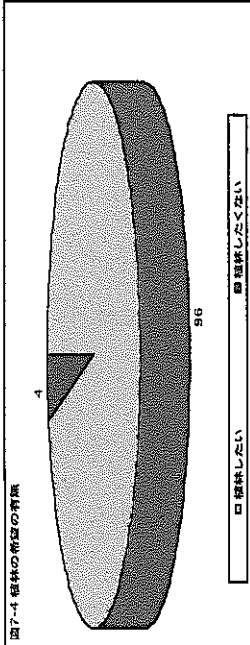


畜産に関する問題点を見ると、一番頻度の高かった病気でも29%に留まり、農業生産と比較して解決すべき問題点の少なさからも、対象農家が多量に畜産に依存していないことが解る。

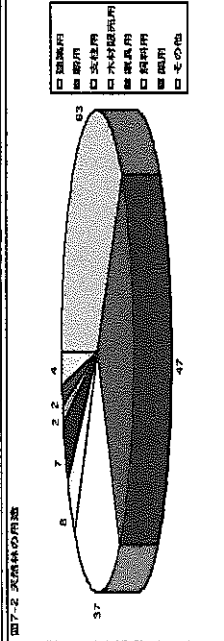
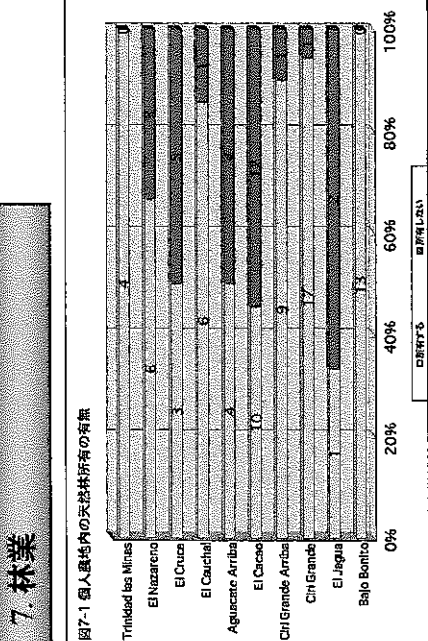


パナマ運河流域保全計画 ベースラインサーベイ結果要旨 No.7

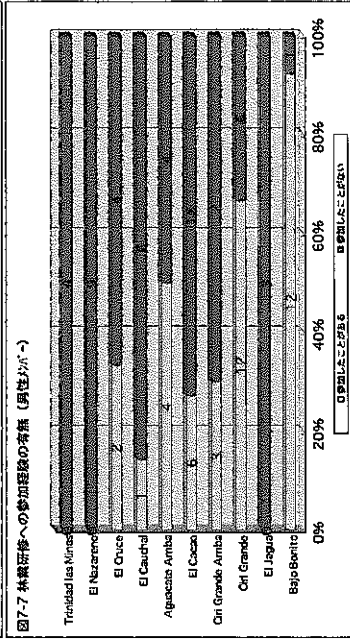
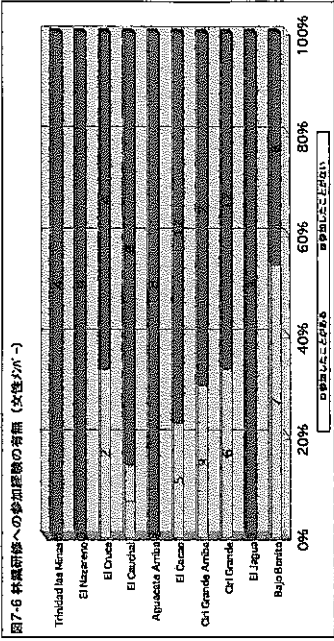
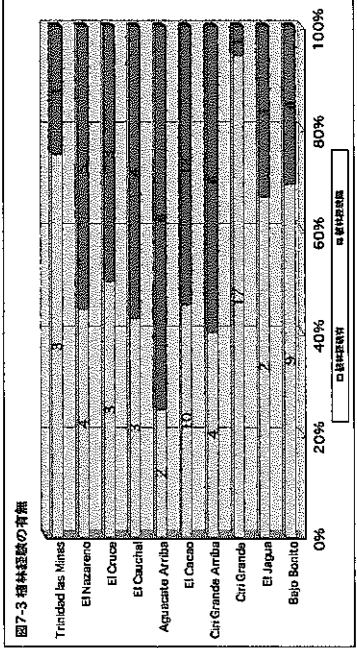
7. 林業



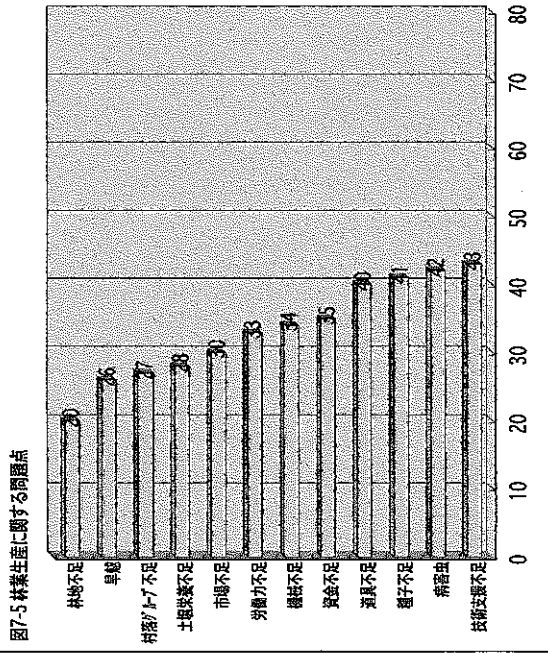
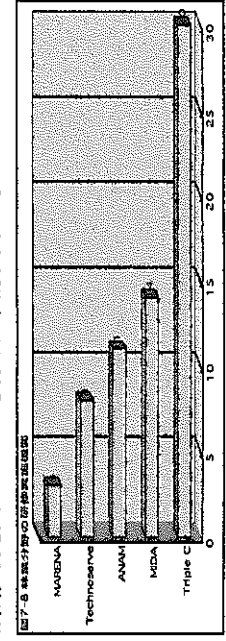
対象者の96%が植林を希望し、希望する樹種はCaoba、Roble、Cedro等の郷土樹種、チーク、カシワ、ゴヒー等。また、対象者の96%が村落實地への参加を希望するとともに、「対象者という高い割合いで対象者が「樹木は何らかの所得をもたらす」と認識していることは特筆に値する。



対象者の73%が個人農場に天然林を所有しており、建築用、薪用、支柱用を中心に活用している。また、対象者の57%が個人農場に植林をした経験があると回答したが、その規模、現在の状況等について別途調査を行い明らかにする必要がある。植栽樹種はRoble、Caoba、Cedro等。



全体では32% (女性24%、男性40%) が参加経験を持っているが、村落間の差が顕著になっている。El Jagua、El Nazareno、Trinidad las Minasでは参加経験者が0であり、プロジェクトにおける研修の実施や普及活動における林業分野の知識、情報の提供が重要と思われる。研修実施機関はTriple Cが大半を占め30名、MIDAが14名、ANAMAMが11名の順で、天然資源管理分野の実施機関としてANAMAMの活動を充実させる必要性が確認出来る。

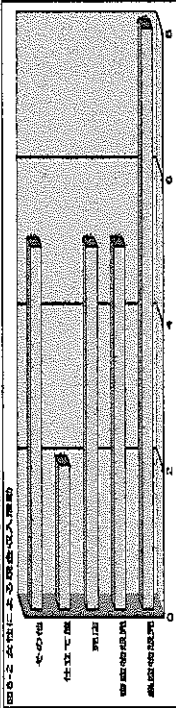
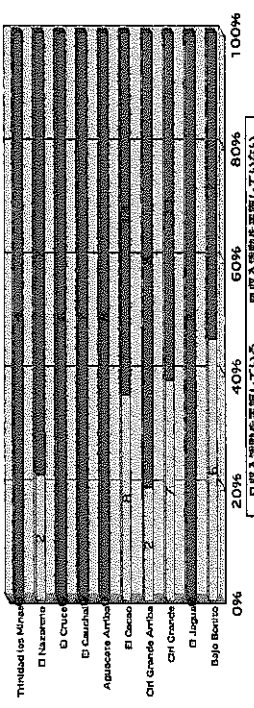


第一の問題点として技術支援不足があげられたことは、現行のANAMの普及体制が技術力不足、人員不足、予算不足等により、村落のニーズを満たしていないことが確認でき、再度本プロジェクトにおける普及体制確立が急務であることが理解出来る。続いて、病虫害、種子不足等の問題点があげられた。

パナマ運河流域保全計画 ベーシック・インシダー結果要旨 No.8

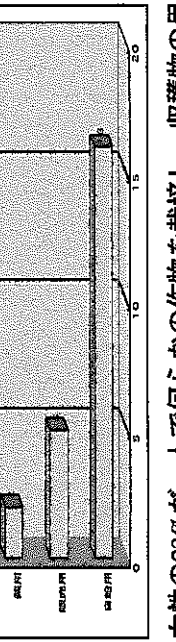
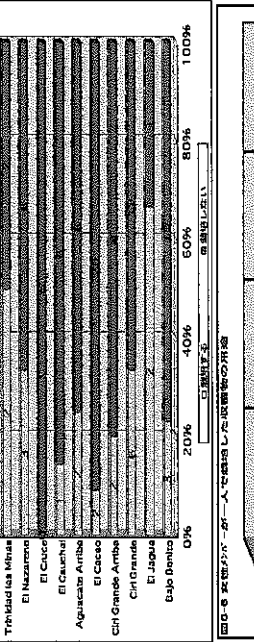
8. ジェンダー

図8-1 女性が現金収入活動を支援しているか



女性の25%が現金収入を得るような活動を実施している。回答し、特にBajo Bonitoでは約半数がYesと回答したが、香菜的栽培を行っている女性の存在が大きく影響している。また、男性の職作業を88%の女性が手伝うと回答し、特に種蒔き/植付けを手伝う女性の数は73%に達している。

図8-5 女性が「一人」で栽培を行っているか



女性の23%が一人で何らかの作物を栽培し、収穫物の用途は自給用が占める割合が多い。女性の92%が新たな作物の栽培を希望し、特にキヤッサ、豆類の人気の高かった。また、89%の女性が家畜飼育で男性を手伝い、18%の女性が一人で何らかの家畜を飼育し、圧倒的に養鶏が多い。88%の女性が新たな飼育を希望している。

図8-9 生産物の販路を行うのは誰 (女性の回答)

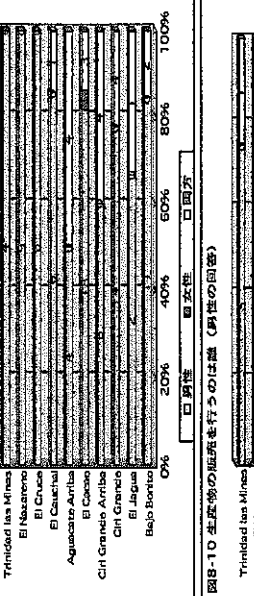


図8-10 生産物の販路を行うのは誰 (男性の回答)

生産物販売を家庭内で誰が行っているかという質問に対して、75%が男性と回答した。また、性別の比較をすると、両方で行っていると回答したのは女性が19%、男性で29%であり双方の認識に差があることがわかった。お金の用途の決定は誰が行っているかという質問に対して、67%が両性でと回答したが、性別間の認識差は同様に存在する。

図8-3 女性が「一人」で男性の農作業を手伝うか

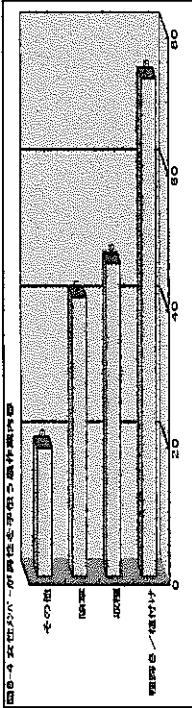
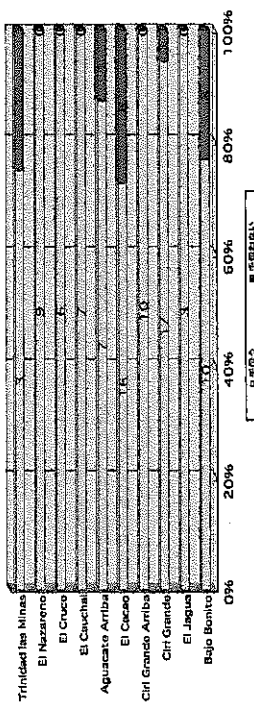


図8-7 女性が「一人」で家畜飼育をおこなっているか

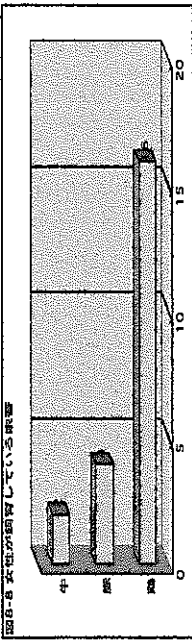
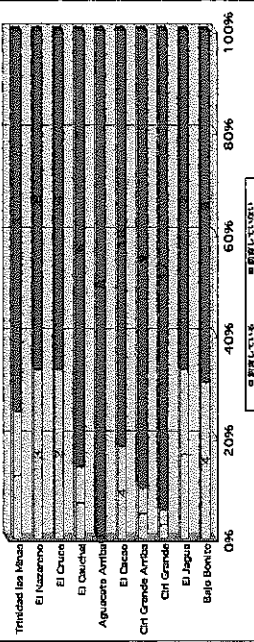


図8-11 お金の用途の決定は誰 (女性の回答)

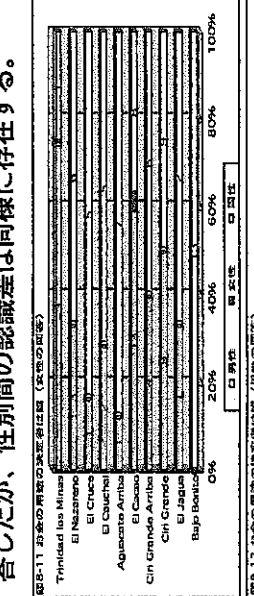
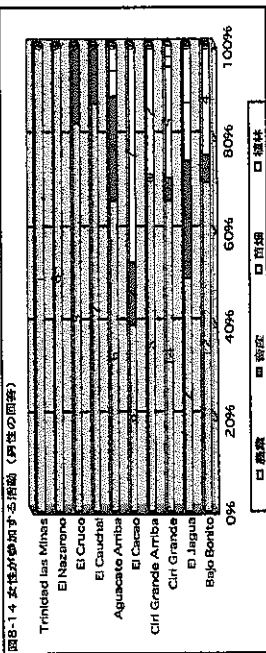
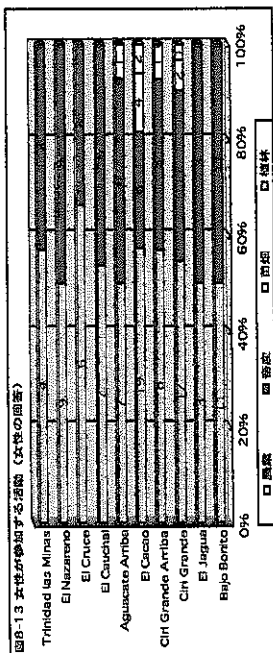


図8-12 お金の用途の決定は誰 (男性の回答)

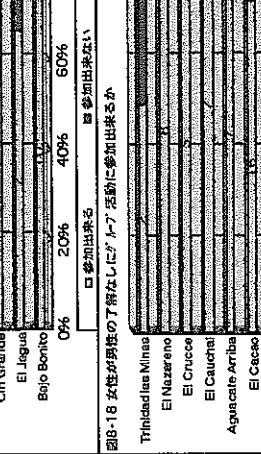
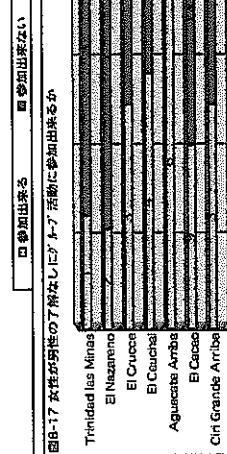
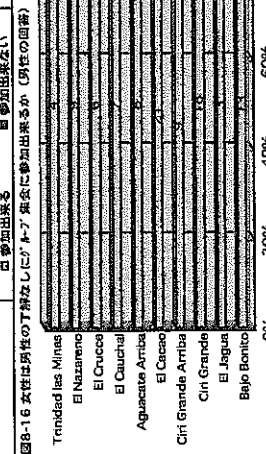
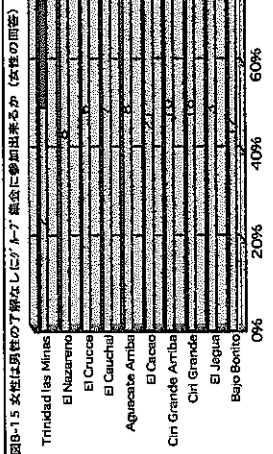
パナマ運河流域保全計画 ベースラインサーベイ結果要旨 No.9



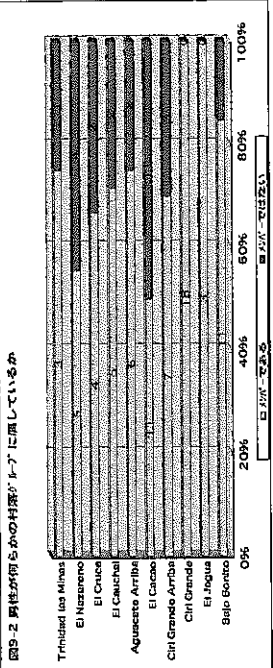
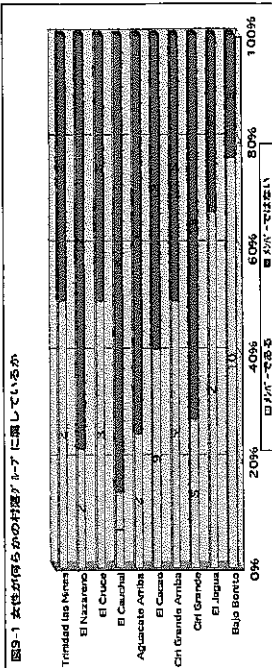
女性が参加する活動について両性に質問を行ったところ、かなり大きな認識性があることが明らかになった。65%の女性が畜産の活動に参加していると回答したのに対し、男性は女性が畜産の活動に参加していると認識しているのは9%に過ぎなかった。逆に苗圃活動では男性の方が女性が参加していると認識している割合が高いという結果だった。

女性がグループに参加するにあたって男性の了解なしに参加出来るかについては、集会への参加については全体の97%が参加出来ると回答し、性別間での差違はほとんどなかった。活動への参加については男性の了解なしに参加出来ると回答したのは全体の64%に留まったため、PRAの女性参加を促すのに障害はないが、PRA実施後の事業実施段階においては、女性が参加出来るよう配慮する必要がある。

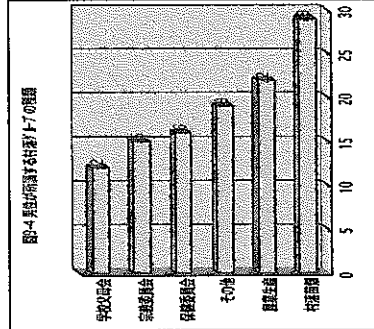
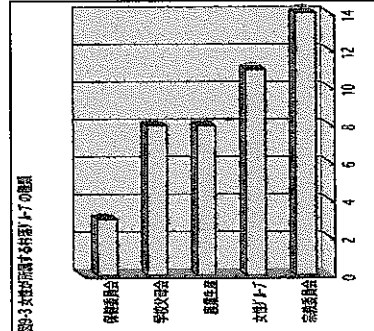
ジェンダーの観点からグループ間の比較を行った場合、Trinidad de las Minasのグループが女性メンバーの割合が低いという現状もあり、今後より女性の参加を促すようなんらかの対策を講ずる必要があると思われる。



9. 村落グループ活動

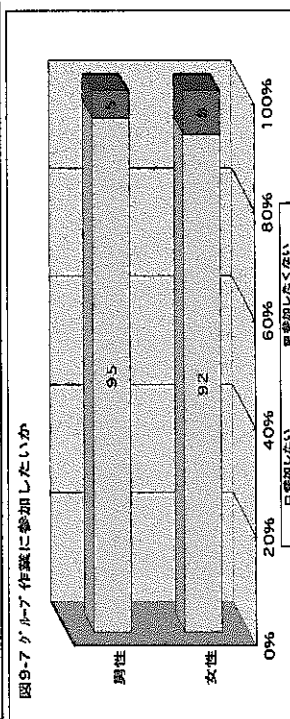
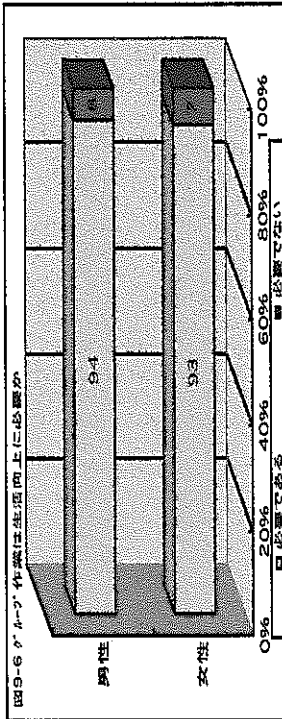
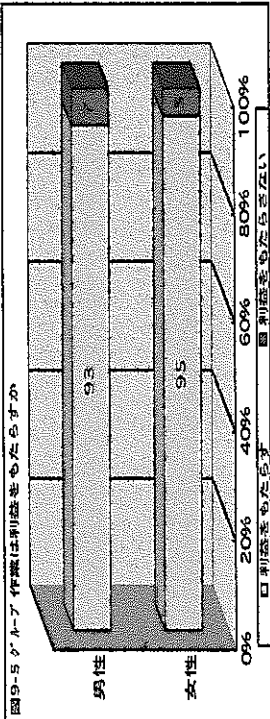


女性では41%が、男性では73%が村落グループのメンバーであると回答し、村落活動の中心は男性であることが確認された。その傾向はCiri GrandeとEl Cauchalのグループで顕著であった。また、男性が所属するグループとして村落苗圃グループ3つを対象にしているためである。



パナマ運河流域保全計画 ベーシックアンケート結果要旨 No.10

10. 総括



グループ作業はより利益をもたらすかという質問には全体の94%がYesと回答し、生活向上にグループ作業は必要かという質問にも全体の94%がYesと回答し、グループ作業参加に興味があるかという質問にも全体の94%がYesと回答し、グループ作業をするニーズが非常に高いことを確認出来る。理由としては、個人では労働力の限界がある、グループの方が技術支援を受けやすい等が考えられる。

	道路アクセス	斜面傾斜度	集落人口	Triple C 村落委員会の有無	Triple C 村落自治会の有無	メンバーの数	女性メンバーの%	貧困度	水へのアクセス	薪へのアクセス	火入れの度合い	焼畑の実施状況	有機肥料への関心	AFの実施経緯	天然林所有状況	植林経緯	シエンター配慮	村落グループの参加状況
Bajo Bonito	X	X	0	0	0	0	0	△	X	X	0	X	0	X	0	0	0	0
El Jagua	△	X	X	0	0	0	△	X	0	0	X	X	0	X	X	0	0	X
Ciri Grande (Triple C) (Union)	X	△	0	0	0	X	0	△	0	0	X	0	0	0	0	0	X	0
Ciri Grande Arriba	X	△	△	X	X	△	0	X	0	0	X	0	0	X	X	X	X	0
El Cacao	0	△	0	0	0	X	0	0	0	0	X	0	0	X	X	X	X	X
Aguacate Arriba	X	△	△	0	0	0	0	△	X	X	0	0	0	X	X	X	X	X
El Cauchal	△	△	X	0	0	0	0	X	X	0	X	0	0	X	0	X	X	X
El Cruce	△	X	X	X	X	X	△	X	X	X	0	0	0	X	X	X	X	X
El Nazareno	X	△	X	X	X	0	0	X	X	X	0	0	0	X	X	X	X	X
Trinidad de las Minas	0	0	0	0	0	X	X	△	X	0	0	0	0	X	0	0	0	0

- 1) 道路アクセス：雨季に車輻で到達出来る○、雨季にほぼ車輻で到達出来る△、雨季に車輻で到達困難×
- 2) 斜面傾斜度：緩やか○、一部急△、かなり急×
- 3) 集落人口：300人以上○、100~300人△、100人以下×
- 4) Triple C 村落委員会の有無：有○、無×
- 5) Triple C 村落自治会の有無：活動中○、活動休止中△、無×
- 6) メンバーの数：20人以上○、15~20人△、15人以下×
- 7) 女性メンバーの%：30%以上○、20~30%△、20%以下×
- 8) 貧困度：比較的豊か○、貧しい△、極めて貧しい× (月収、家屋の天井及び壁の素材から判断)
- 9) 水へのアクセス：容易○、困難×
- 10) 薪へのアクセス：容易○、困難×
- 11) 火入れの度合い：低い○、頻繁×
- 12) 焼畑の実施状況：なし○、以前にあり△、現在実施中×
- 13) 有機肥料への関心：高い○、低い×
- 14) 7ヶ所以上のAF実施の経緯：豊富○、なし×
- 15) 天然林所有状況：あり○、なし×
- 16) 植林経緯：あり○、なし×
- 17) シエンター配慮：あり○、なし×
- 18) 村落グループの参加状況：盛ん○、盛んでない×